

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

ちりめんに映える 手づくりの魅力

京商の支援で、「経営力向上計画」の認定を受けることができました。例えば、今は白布を使った商品開発をしていますが、10年後には真っ赤な色が受け入れられるがもれません。市場のニーズを敏感にとらえながら、うちだけしか提供できないものづくりを展開したいと考えています。

市場のトレンドに根差したものづくり

今から3年前、京商が支援する国内向け、海外向けの販路開拓事業に参加する機会を得て、男性もののポウタイやハンカチ、ブローチなどを開発しました。特に、京もの海外進出支援事業「Kyoto Contemporary」では、フランスの新進気鋭のデザイナーと二人三脚で、布とレザーを組み合わせた今までにない斬新なアイテムが完成。色や形などものづくりのトレンドを吸収できただけでなく、レザー素材の扱い方など新しい技術の蓄積にもつながっています。

東京やパリで開催された展示会では、多くのバイヤーに足を運んでいただき、問い合わせも舞い込むなど、メンズファッションの市場を切り拓くことができました。商品開発や販路開拓は自社で行うのが当たり前！と思っていた私たちにとって、京商が用意する支援メニューはニーズに応じたものばかりで、たいへん魅力的に映りました。

アイデアを深化させ新商品を開発

昨年は、真っ白な麻生地を絵画のキャンパスに見立てた夏向けのインテリア商品を出展。当社が提供するアイテムはカラフルな彩りのものがほとんどですが、今回の取り組みを通して“白”というシンプルな色の美しさに改めて気づかされました。今年2月に東京で開催された「京都知恵産業フェア2018」では、今までのものづくりをさらに深化させ、白布を使った兜飾りや雛飾りなどを独自に開発。京の美意識を映したモダンな商品が出来上がりました。今後は、首都圏での市場の掘り起こしを通じて顧客の拡大につなげていきたいと考えています。

自社にはない知恵やノウハウ、ネットワークを活用できるのが、京商の販路開拓事業の魅力。そこには、次の商品開発につながるヒントがたくさん埋もれています。これからもいろいろなメニューを使ってステップアップしていきたいですね。



社長の飯田 景子さん

企業概要



「京の小さな幸せ」をコンセプトに、ちりめんや綿、麻などを使った手作り感あふれる和雑貨を提供。京の町家をモチーフにした昔懐かしいドールハウスや、お香入りで甘美な香りが魅力のちりめん和菓子シリーズなど、ロングセラー商品も数多い。宇治市の「源氏物語ミュージアム」内のショップでは、ティータイムを楽しみながら雑貨選びができる。

株式会社夢み屋

代表者／飯田 景子
住 所／京都市伏見区桃山町見附町20
T E L／075-622-6900 U R L／<http://www.yumemiya.co.jp/>